

第 6 期豊明市障害福祉計画および第 2 期豊明市障害児福祉計画の策定
と第 3 次豊明市障害者福祉計画の中間見直しについて

平成 30 年 3 月に策定した第 3 次豊明市障害者福祉計画、第 5 期豊明市障害福祉計画及び第 1 期豊明市障害児福祉計画の達成状況を把握した上で、障害福祉計画及び障害児福祉計画を策定するとともに、それらの基礎となる障害福祉計画の時点修正を行う。

年度		H30	R1	R2	R3	R4	R5
豊明市障害者福祉計画	第 3 次						
豊明市障害福祉計画	第 5 期						
	第 6 期						
豊明市障害児福祉計画	第 1 期						
	第 2 期						

1 策定方法

◇プロポーザル方式により委託事業者を選考

◇策定に向けた取り組み

- ・ 各種統計等既存資料から基礎的データの分析
 - ・ 障害者手帳所持者、重度のサービス未利用者等へのアンケート
 - ・ 関係団体へのヒアリング
- ⇒ 基本的方向性、目標値を明確化

2 策定スケジュール

時期	会議及び内容
R2.6	計画等策定・推進委員会① アンケートの実施に係る諮問
R2.6～8	手帳所持者等へのアンケート実施～集計・分析
R2.9	計画等策定・推進委員会② 現状分析、計画の方向性について報告・諮問
R2.11	計画等策定・推進委員会③ 計画素案について諮問
R2.10	市経営戦略会議
R2.12～R3.1	パブリックコメントの実施
R3.3	計画等策定・推進委員会④ 計画策定及び現計画の進捗報告

■アンケートの対象について

アンケートは下記の2つの目的から実施を予定している

- ①障害福祉・障害児福祉の両計画を策定する上で、サービス必要量を把握する必要がある、その利用意向等を調査したい。

信頼区間 95%、標本誤差 5%、比率 50%と想定し必要サンプル数は 381

回収率を 40%と見込むと 953 ⇒ よって 1,000

- ②40 歳以上、重度のサービス未利用者へのアンケートに関しては、サービス未利用のため、市で対象者の現状を把握できていない。当該対象者は支援者が不在となるなど生活状況に変化が生じると、一転、困窮状態に至ることが想定される。これに未然に対処するために、調査が必要と考えている。実数 70 名

※①と②は重複させない